

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名	公表日	R8 年 2月 28日
ことばの教室そらまめキッズ	利用児童数	131名、45施設

チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものです。	32	8		もっと話をしたいがお互い時間がない。声掛けや支援について具体的に助言してくれることで、保育に活かせた。園ですべてを取り入れるのは難しいが、取り入れやすいものが多かった。LINEを活用して連携が密にできた。現状出来ている所・伸ばしたい所を具体的におしえてくれるのでありがたい。助言・説明がなかった。助言や説明がいつどこで誰にされているのかよく分からない。	「できている所」「伸ばしたい所」「次回までのねらい」の3点に絞って、結論から話すスタイルを徹底していきます。
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	31	9		今の成長段階や利用児が困っている時の支援について学ぶことができている。子にあった方法を準備してくれるのでありがたい。相談したことを持ち帰り、文章やLINEで回答してくれる。療育の観点から必要な支援方法をおしえてもらえる。絵カードを作製したり、タイマーを使うなど色々試して子に合う支援方法を考えてくれる。成長面はもちろん、その子の苦手な所も次への課題として伝えてくれる。私たちが見えていない視点でアドバイスがもられた。	興味関心に合わせて絵カード等を作成し、園や学校でも使いやすい形で提案させていただきます。「できたこと」の共有だけでなく、スモールステップで取り組むべき「次の課題」を明確にし、園・学校・家庭と共通認識を持って支援にあたります。
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	37	3		すぐに対応してくれるので、とても学びになっている。その場に応じた支援の仕方を提示してやり方をみせてくれるので助かる。とても話をよく聞いてくれ、質問・相談に対しての回答はとても納得いくものばかりだった。支援の内容やこれまでの支援の経過など個別の支援資料などあれば、みながら意見交換などできるのでは。一緒に考えたり、方法を示したり、その場で対応が難しい時には、持ち帰って後日連絡をくれる。専門的な目線から見た回答ももらえるので助かる。具体的に回答してくれ、保育に取り入れやすい。分かりやすく答えてくれた。	理論と実践をセットに解説・説明の強化を行います。その場で解決が難しい課題については、事業所内のスタッフで検討し、フィードバックを行います。何かお困りのことがあれば、いつでもご相談ください。
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	28	12		声のかけ方やこの援助方法で本児に合っているのか等、助言していただき保育につながっている。提案してくれた色々な方法を試しながらよりよい方法をみつけていきたい。具体的な対策を示してくれる事で困りごとがかなり軽減された。自分の気持ちや伝えられなかったのが伝えられるようになる成長を感じている。アドバイスを参考にしながら個別に配慮することで、少しずつ変化がみられた。解消に至らない時もありますが、聞いて一緒に考えてもらえて救われている。利用児の実態を踏まえて、疑問や不安に思っていることを相談した時にも、丁寧に対応してくれるのでありがたい。状況によっては、困りごとが解決できなかった事もあった。	「解決できなかった事もある」という実情を重く受け止め、一過性の助言に終わらない支援を目指します。「一緒に考えてもらえて救われている」というお言葉を大切に、単なる技術提供だけでなく、先生方の不安や葛藤を共有し、共に解決の糸口を探るパートナーであり続けます。提案した方法を試した結果、どのような変化があったかあるいはなかったかを定期的に確認し、計画をブラッシュアップするサイクルを確立します。
5 事業所からの支援に満足していますか。	32	8		たくさん助言をいただき、支援の幅が広がりとでもありがたいです。学びになることばかりです。訪問支援があることで利用児が課題と向き合い言語発達が伸びている。保護者の子どへの認識に少しずつ変化がみられ、子育ての方向性を話すきっかけになっている。いつも丁寧に対象の子や担任に対応してもらいたい。もう少し、回数が多くても良いかもしれない。	具体的かつ日常で再現可能なフィードバックを強化します。

その他のご意見	ご意見を踏まえた対応
---------	------------

「気になる子」の個への支援方法についての助言はある程度満足しているが、集団の中でのその子への関わり方についても助言してもらえると有難い。園・療育・家庭での様子などを情報共有することができ、本児にとつての最適な援助を保育につなげられている。利用児の困りごとなど共通理解できていることが良いと思う。お話できる時間がないなあ、と感じる。支援計画等を前提に事業を行う方が良いと思う。実際に支援の仕方などをみせてもらえるので分かりやすい。参観してほしい時間帯に合わせてきでもらえるのがありがたい。訪問回数の年度途中の計画については変更ありうことは分かるが、担任の考えも聞いた上で対応してもらえると有難い。情報交換会では児童の実態について学校以外のことも知ることができた。会の開催については、時間が十分とれる日に設定できたらと思う。教員が1人で抱えることもなく、教員側も頼りにしている。日程の調整が難しいと感じる。児の様子に合わせて必要な個別支援計画が立てられていると思うので、職員都合によって日数が変わるのは避けてほしい。家庭への助言、支援等は考えているのか？園で遊んでいるときはそこまで手をかけずに済む子が生活面(着替え、トイレ、食事など)になるとサポートが必要という子が増えていると思うので、生活面・そこまでの切替(気持ちの)がスムーズにいけるよう支援、アドバイス等ももらえると助かる。困りごとにもアドバイスや励ましももらえて感謝している。

対面時間の不足を補うためや、情報共有・フィードバックの充実を図るため、訪問時の気づき、具体的な助言、集団の中での関わり方のポイントを簡潔にまとめた内容を作成します。遊びや生活面へのスムーズな移行を促す視覚的支援や、身体の使用方に合わせた方法など、園や学校に即した具体的なアドバイスを行います。可能な限り早い段階で候補日を提示し、日程の調整を行っています。また、職員都合による訪問日数の変動を最小限に抑えます。